



のびる ほどっ子！

ほっとな未来へ 3C！

令和8年9月30日
横浜市立保土ヶ谷小学校
学校長 宮生 和郎

語り合うことで、人と人がつながりあう

～ウェルビーイングの会2～

主幹教諭 飯野 一樹

9月18日(金)、保土ヶ谷小学校では今年も「ウェルビーイングの会」を開催しました。

多くの保護者や地域の皆さまにご参加いただき、和やかな雰囲気の中で「保土ヶ谷小学校の未来」について語り合うことができました。

会では主に3つのテーマについて意見を交流しましたので、その一部をご紹介します。

1 保土ヶ谷小学校のよいところ

参加者の皆さまから、保土ヶ谷小学校の魅力についてたくさんの声が寄せられました。

- ・子ども同士の仲が良く、学年を越えたつながりが自然に生まれている
- ・先生との距離が近く、親しみやすい雰囲気がある
- ・子どもを中心に考える学校文化が根付いている

改めて、保土ヶ谷小学校ならではの「あたたかさ」を感じる時間となりました。

2 もっとよくなったらよいところ

これからの学校づくりに向けて、さらに良くしていきたいことについても話し合いました。

- ・他学年とのつながりをさらに深めたい
- ・教職員の体制を充実させ、子どもたちへの支援をより手厚くしたい

子どもたちの成長を、学校全体で支えていきたいという思いを共有することができました。

3 みんながウェルビーイングになるために、自分にできること

それぞれの立場から、「自分にできること」について考えました。

保護者：先生とたくさん話す・子どもの声をしっかり聞く

教職員：学校⇄児童⇄保護者⇄地域をつなぐ役割を果たす

児童：みんなで助け合う・「ありがとう」を伝える

地域：学校や家庭とは別の安心できる「居場所づくり」を進める など

どの立場から、「学校をもっとよくしたい」「子どもたちのためにできることをしたい」という前向きな思いが伝わってきました。

「ウェルビーイングになる木」
自分にできることを葉っぱに書き込みました。



4 参加者からの感想

参加者の皆さまから頂いた、温かい感想を紹介いたします。

「いろいろな立場の人たちと話すことは、やっぱり楽しいし、大切だと思いました！でも、ずっと同じ人とではなく、誰とでも好き嫌いなく仲良くしていきたいです。」（児童）

「保護者と学校の風通しをさらによくしていきたい。」（保護者）

「小学生の段階で対話の価値を理解し、自分の考えをしっかりと伝えられる姿に感心しました。また、教師の温かな関わりや支援が、子どもたちの主体的な学びにつながっていると感じました。」（卒業生）

「私たちのグループでも、『子どもを中心に人と人がつながっていくことが大切』という意見で一致しました。それぞれの立場で、今できることから始めようという前向きな話し合いができました。先生方を心から応援したいです。」（地域）

さらに、保土ケ谷小学校の枠を超えて、次のような言葉を複数いただきました。

「今回のような取組が、地域の他校の先生方にも自然な形で広がっていけばいいと思います。」

保土ケ谷小学校で大切にしている「あたたかさ」や「つながり」が、これからも地域へ広がっていくことを願っています。

5 まとめ

今年のウェルビーイングの会も、学校・家庭・地域が一緒になって、保土ケ谷小学校の未来について考える貴重な機会となりました。

ご参加いただいた皆さま、そして温かいご意見を寄せてくださった皆さま、本当にありがとうございました。

保土ケ谷小学校に関わる全ての方々がウェルビーイングな状態に近づけることを願っております。そして、これからも学校・家庭・地域が手を取り合いながら、子どもたちにとってよりよい学びの場をつくっていきたいです。

みんなで円卓に書き込みます♪



書いた文を読みながら語り合いました♪



みんなで～、ウェルビーイング～！！